

林業普及活動状況

- 1 件名：柳北小学校児童が「森林体験学習」で竹のおもちゃづくりを実施
- 2 内容

令和4年10月6日(木曜日)に柳井市立柳北小学校において、1、2年生の児童18名を対象とした森林体験学習が実施されました。

これは、次代を担う子どもたちに、ふるさとの森林の大切さや林業の重要性を体感し、理解を深めてもらうために、林業研究グループ「柳井ふれあい森の会」(会長:山重 義則)が行ったものです。

はじめに、山重会長から森林の話聞いた後、各学年2班に分かれ、会員の指導を受けながら、竹を使ったおもちゃづくりを実施しました。

1年生は竹ぽっくりをつくりました。竹をノコギリで切って、ドリルで空けた穴にひもを通して完成です。「ぽっくり、遊んだことあるよー!」と元気な1年生ですが、皆にとっては大きくて切りごたえのある竹で、柳井ふれあい森の会の方たちに協力してもらいながら、一生懸命ノコギリを挽きました。竹ぽっくりが出来上がると、グラウンドに移動して、早速カポカポと音をたてながら競争して歩いていました。

一方、2年生は竹の水鉄砲をつくりました。作る際に気を付けることは、竹筒の噴出口以外から水が漏れないようにすることで、生徒達は竹に巻いた隙間材の厚みを調整しながら組み立てていました。完成すると早速グラウンドで試し打ちです。最初は上手く水が出ない子供も再度調整をし、勢いよく水を飛ばせるようになりました。

柳井ふれあい森の会では、今後も森林資源を活かして、地域に根ざした取組を行うこととしています



一生懸命ノコギリを挽きます



誰が遠くまで飛ばせるかな?
「せーの」で競争!